

高濱会長

こんにちは。本日は、何かとお忙しいところ公聴会、そして委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

先月の委員会の時もものすごく寒かったなという記憶があるんですが、今日もなぜか、途中暖かい日もあったんですが、またがくと寒くなりまして、なかなかまだ寒さが体に堪える感じがしている今日この頃でございます。

まず、昨今の情勢に触れさせていただきます。新型コロナウイルス感染症への対応については、国はこの5月を目途に、感染症区分を通常のインフルエンザと同じ扱いにするとの方針を示しました。第9波を心配する向きもございますが、ついに新型コロナの呪縛が解けてようやく晴れ晴れとした春が迎えられるのではないかなと思う次第でございます。次回はどのようなルールになるかわかりませんが、マスクを取っての委員会になると期待しております。

一方、先日のトルコの地震でございますけど、残念なことに犠牲者は4万人を超えています。東日本大震災でも2万人を超える犠牲者で大災害でしたが、ほとんどが津波災害で、津波さえ起きなかつたら犠牲者は1500人に満たない、というのが東日本大震災でございます。ですから、今回のトルコの地震というのは想像を遙かに超える大惨事、災害なんだなと思っております。一日も早く復興に向かっていただくことを願う次第でございます。

県内の漁模様に移りますと、2月に入りまして、この委員会でも議題として上がりました、しらす曳き網の特別採捕許可が行われましたが、ここ何十年でもなかったような大変な豊漁であったようです。昨年末もシラスの記録的な好漁もあったと、前回の委員会で申し上げましたが、昨今の状況や今後の見通し等につきましては、後ほど水産試験場さんからの報告もございますので、そのあたりのお話を伺がたいと存じます。

また、クロマグロの漁については2月に入りましても漁が続いているとのことで、今期は比較的漁期が長かったようでございます。

まき網もちょっと加えますと、サバはテレビ、新聞等で報道されましたが、かなりの不漁ということのようです。その一方でマイワシは豊漁で、本県沖で漁場が形成され好漁のようです。

本日の議題でございますけれど、「海区漁場計画の案について」の答申、そしてくろまぐろ等の令和5管理年度における知事管理漁獲可能量の諮問等の議題の他、水産試験場からの漁海況予報についての報告となっております。本日も、御審議の程よろしくお願い申し上げます。

根本事務局長

ありがとうございました。

議事進行の方ですが、茨城海区漁業調整委員会会議規程第2条第2項によりまして、会長が議長となることになっておりますので、よろしく申し上げます。

高濱議長

はい。それでは進めさせていただきます。まず、事務局から出席委員の報告をお願いいたします。

根本事務局長

はい。現委員17名のうち、現在の出席委員は13名です。欠席委員は4名で、欠席委員は、13番の日向野委員、14番の鈴木正特委員、18番の根本正明委員、19番の吉田委員でございます。本日過半数の委員の御出席を頂いておりますので、漁業法第145条の規定により、本日の委員会が成立し

ていることを御報告します。

高濱議長

ただいま報告のとおり、本日の委員会は成立しております。
次に、議事録署名人の選出でございますが、会議規程第8条第2項の規定に基づき、私のほうから指名いたします。10番 岡田委員、11番 青木委員
をお願いいたします。

高濱議長

それでは、議題に入ります。はじめに、第1号議案「海区漁場計画の案について」の答申でございます。内容につきましては、配布されております資料1のとおりで、前回までの委員会におきまして、御審議いただいたものでございます。また、先ほどの公聴会におきましても「公述なし」で終了したところ
でありますので、本件につきましては、県からの諮問の内容のとおりで異議がない旨答申したいと思っておりますがいかがでございましょうか。

(委員)

(「異議なし」の声)

高濱議長

はい。「異議なし」とのことでございますので、「原案のとおりで差し支えありません。」と県に答申することに決定いたします。

高濱議長

続きまして、第2号議案に移ります。「くろまぐろ等に関する令和5管理年度における知事管理漁獲可能量について」の諮問でございます。事務局、漁政課から説明をお願いいたします。

細金副主査

(資料2-1 諮問文朗読)

谷村主査

(資料2-1から2-6 により説明)

高濱議長

はい、ありがとうございました。クロマグロの小型魚、クロマグロの大型魚、スケトウダラ、スルメイカ、これらの魚種に関する令和5管理年度における知事管理漁獲可能量についての説明でございました。この説明に関しまして、御意見・御質問等ございましたらよろしく願いいたします。

(委員)

(特になし)

高濱議長

よろしいですか。

(委員)

(「はい」の声)

高濱議長

特になければ、諮問の内容のとおりで異議がない旨答申することに御異議
ございませんでしょうか。

(委員)

(「異議なし」の声)

高濱議長

「異議なし」とのことでございますので、「原案のとおりで差し支えありません。」と県に答申することに決定いたします。

高濱議長	続きますして第3号議案「個人情報保護法の一部改正に伴う茨城海区漁業調整委員会規程の一部改正について」の協議でございます。事務局から説明願います。
細金副主査	(資料3 により説明)
高濱議長	はい、ありがとうございます。ただ今の説明に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いいたします。
(委員)	(特になし)
高濱議長	条例、規則の名称変更に伴って、茨城海区漁業調整委員会の規程を改正するという内容でございます。委員会規程の改正というのは委員会に諮るというルールとなっておりますので、御理解願いたいと思います。 よろしいでしょうか。
(委員)	(「はい」の声)
高濱議長	それでは、原案のとおり取り扱うこととしたいと思います。
高濱議長	続きますして、報告事項に移ります。「令和5年冬春期の沿岸漁海況予報について」、水産試験場から報告をお願いいたします。
小熊技師	(資料4により本県周辺海域の現況について報告：プロジェクター使用)
高濱議長	はい、ありがとうございます。この後、船びきの予測の報告があるんですね。ここまでのところで、委員の皆様、御意見・御質問等ありましたらお願いいたします。
(委員)	(特になし)
高濱議長	では次、説明続けてください。
茅根首席研究員	(資料4により船びき網漁の漁況経過及び予測について報告：プロジェクター使用)
高濱議長	はい、ありがとうございます。それでは、皆様方から御意見・御質問等伺いたしたいと思います。どなたかございますでしょうか。
5番 鈴木稔委員	はい。
高濱議長	はい、鈴木委員。
5番 鈴木稔委員	試験場の方で、今年はウルメイワシがすごく多いの。で、その原因とか、水温等もあるんだろうが、どうしてこんなに捕れたのか。

茅根首席研究員

非常に難しい御質問で、解析がまだ進んでいないのが実態でございますけど、ひとつ想定されますのが先ほど来話に出てきております黒潮が立ち上がったところですね。この北偏している黒潮の立ち上がりが従来より茨城沿岸に近くなっている、だから影響が強くなったというふうに考えるのが一つかなと。ただ、本来ですとウルメイワシの主な産卵場というのは高知県沖あたりと言われておりますので、そこで生んだのがこの黒潮の流れに乗ってうちの県に来るのは相当かかるので、その途中どこかで生んでいる可能性もある。ちなみに、12月15日、せんかいの調査で大洗水族館前でウルメイワシの14センチサイズほどの一群を確認しております。ただ、産卵するような大きなサイズではなく、生殖腺も成長しておりませんでしたので、本県で生んだとは考えづらいというふうに考えます。

5番 鈴木稔委員

いいですか。

高濱議長

はい、どうぞ。

5番 鈴木稔委員

私、加工業もやっているんですが、こんなにウルメが混じると、今までウルメっていうと捕らなかつたような気がするんですよ。今年あたりは鹿児島、静岡、愛知、あっちの方もシラスが混じりで、ちょっと安いというような、良いものがないということで、このウルメ混じりのシラスも値段が良いという話を聞いていますけども、今後どうなっていくのかね。大津の方は、今日のかえりがずいぶん揚がったんです。かえりになってきちゃったんだね。だんだんかえりが多くなってきたって今日は言っていましたね。今後、来月あたりの方がこわいのかな、そんな感じがしています。

茅根首席研究員

先ほど体長モードの話をしていただきましたが、2月に獲れていたのが体長モードが大きなサイズ、獲った瞬間に大きいなという感覚を持つようなシラスばかりでしたので、カタクチシラスは、おなかの部分で銀色化してまもなくかえりというのが何匹か混じってきておりましたので、かえりになってくるだろうかと、ただウルメイワシにつきましてはもうちょっと小さいモードがいますので、もう少し漁が続くのかなと、ただこれが継続するかどうかと言いますと、13ミリから27ミリくらいの小さなものが捕れていませぬので、ウルメもある程度獲ったら、成長して終わるのかなという感覚は持っております。新規のものがまだ出てきておりませぬので、いったんこれで切れて、次にまた改めてというリセット状態になるというのが今年の漁況になるのかなというふうに考えています。

5番 鈴木稔委員

わかりました。

高濱議長

ほかにごございますか。

6番 根本経子委員

(挙手)

高濱議長

はい、根本委員。

6番 根本経子委員

よくいう中羽イワシというのは、なんていうイワシなんですか。中羽イワシはマイワシでしょうか。

今、この海流に乗ってイワシはたくさん捕れて、サバがだめってというのはこの海流のせいですか。結局そのイワシが捕れる、それからシラスも捕れる、これは暖水系だとこれが続くということで、サバはだめということになるんでしょうか。今年は暖水が来ているから（イワシが）一緒に流れてきて、今度冷水に変わって、ここに棲んでいる訳ではないから（捕れる魚が）変わっていく、毎年、ということでしょうか。

高濱議長

はい、では場長お願いします。

富永水産試験場長

はい。水産試験場の回遊性資源部のほうでサバとイワシのほうを担当しているんですけど、サバのほうですね、秋の時点の予測では資源も多いと、11月下旬以降の来遊になるけど去年よりは獲れるんじゃないかという見込みだったんですが、ご存じの通り金華山あたりで一時期漁場はできましたが、大きいサバがあまり混じっていなかったと、その後茨城県海域に漁場ができることなく、既に伊豆諸島のほうで漁場ができはじめておりまして、海の影響が大きいとは思っているんですが、サバについては不漁のまま漁期も終わってしまうのかなというふうに思っております。その一番の原因については、資源が大きくなると沖合を回遊する傾向がある、それから成長が遅くなる傾向がある、ということで大きいサバがなかなか現れにくいというのがあるんですが、もう一つ今年については黒潮の流れも影響しているのかなと考えております。また、資源が多いという判断についてももう一度、各県とか国と一緒に検証するようなのかなと、個人的な見解ではあるんですが、資源が多いというのがはたして本当なのだろうかという疑問を持ち始めている、というような状況です。

一方、マイワシのほうについては、本県沖に漁場ができてまあまあ豊漁なのですが、こちらについてはある程度予測通りに漁場ができております。ただ不思議なのは、マサバについてはかなり海流とか漁場形成が黒潮の影響を受けていると思われまして、ヤリイカとかメヒカリについてもかなり、そういう海の影響を受けているのだと思っております。マイワシだけは順調に南下して茨城県海域で漁場ができるという、なんでマイワシは黒潮の影響をあまり受けないのかなという不思議なところがございまして、まだ答えが出せていないというところがございます。3月に国のほうに集まって、また会議とかで調査しているものの意見をぶつけてもう少し、ある程度の答えを出していきたいと思っておりますので、後で御報告できればと思います。今後、来年についても大きな傾向としては、似たようなところはあると思っております。サバが少なめであったり、マイワシがよく獲れたりという傾向があると思うんです。一方、黒潮の流れについては気象庁は一ヶ月は間違いなく続くと思っておりますが、それ以降については北偏傾向は変わる可能性もあるので、そこら辺についても注目していきたいと考えています。

高濱議長

ほかにございますか。

10番 岡田委員

(挙手)

高濱議長

岡田委員。

10番 岡田委員

もう一つ、聞きます。ウルメイワシは、うちのとこの業者は黄色く仕上がるって。今年の春、2月以降私ら捕ってくるけど、型の小さいシラス捕っても黄色く仕上がるって最初わからなかったから、なんとしても値段が200円より上がらなかったの。値段が安いんですよ、うちの業者は。黄色くなるから品物が悪い。黄色く仕上がらないで白く仕上がる方法ってのを教えてください。なんか策があれば。

茅根首席研究員

これは市場のほうにあって、仲買人さんとか加工業者さんから聞いた話で大変申し訳ないんですけど、私どももまだ細かいところはわからない段階でございます。ただ、ウルメイワシはカタクチとかマイワシシラスと一緒に炊いてシラス干しにすると黄色くなる、それはどこでも同じように言われております。ただ、黄色くなるんで大津の業者は干す時間を長くして「かりり」までもっていく、そこまでもっていけば非常に良い品物になるんで高く売れる、という言い方をしています。あともう一つ聞いた話ですと、実際今年、混入率が8パーセントから95パーセントぐらいウルメイワシの混入した網がございました。ウルメイワシが多くなれば、今度はシラス干しとかそういうものに加工するんじゃなくて、佃煮に加工するという業者さんがおります。そうすると、ウルメシラスも味は良い、おいしいんです。シラス干しにすると色が悪い、形が悪いんで売り物にならない。ただ、加工の仕方によっては売り先が分かれて、非常に高く売れる、という話を聞いてまいりました。ただ、それが実際どうなるかまでは試験場も確認しておりませんので、それにつきましては御容赦願いたい。聞き及んだ話だけで申し訳ございません。

5番 鈴木稔委員

(挙手)

高濱議長

はい、鈴木委員。

5番 鈴木稔委員

今の話、加工屋さん結構仲間内で話していますが、黄色くなるのはかりり、今年はずいぶん少ないということで注文がこここのところ来てるみたいなんです。だからウルメイワシでもかりりにすれば結構売れるんだよというような、最初はやっぱり南に揚がるんじゃないかって、シラスが、良いやつが、そういうものがあって最初安かったみたいなんです。ところが不漁ということを受けてかりりにすれば売れると、そういう話になってきて現在ウルメ混じっても300円400円、下手したら500円とかいう話になってますね。普通の釜揚げシラスではちょっと無理があるというような話なんです。私も昔かりりを作っていましたからよくわかるんですが、わりと今年は仕上がりも良いんですよ。脂が少ないのか、だから食べてもおいしいんですよ。普通は脂が多いんですよ。水温が高い割には脂が少ない、黄色くても仕上がりが良いというような感じで聞いています。

茅根首席研究員

よろしいですか。

高濱議長

はい。

茅根首席研究員	補足しますと、うちのほうで大津から鹿島灘までサンプルを取らせていただいていますけど、ウルメはどこにでもいます。ですから、茨城県全域でウルメが混じっているというふうに御理解ください。実は福島県が1月あたりに捕れていたということで情報を聞こうと思って電話を入れたのですが、残念ながら種の組成までは確認していないということで、福島で獲れたのがウルメイワシかどうかまでは確認取れていないのでそれだけは御容赦いただければと思っています。以上です。
高濱議長	ほかにございますか。
3番 磯前委員	よろしいですか。
高濱議長	はい。
3番 磯前委員	先ほどサバの話が出ていたんで、ちょっとコメントしづらいとは思いますが、ロシアの大型船というか、その漁獲が影響があるかというのは案じるところはないのでしょうか。資源的な研究をしているんですかね。
高濱議長	これ、答えられますか。
富永水産試験場長	はい。
高濱議長	水産試験場のほうで。
富永水産試験場長	あくまでも試験研究の立場での意見なので行政的な立場とは少しずれる点があるかもしれませんが、御容赦願いたいと思います。業者の話を聞くと、やはりロシア船の影響はあるのではないかという心配をされております。といいまするのは、捕った量を確実に押さえ切れていないというところが一番の原因だったり、見た目船があまりにも大きいというところがあるかと思えます。一方で、国のほうは資源を計算した上で、全体として影響がない範囲で配分をしているので問題はないはずだという見解もあるので、心配する面と大丈夫だという面があるんですが、ここまでサバの巻き網漁が不漁だと国がどう対応していくのかなというふうに注目しております。試験場としては、影響がどうこうというところまで調査が進められていないというのが正直なところです。
鴨下補佐	はい。
高濱議長	では漁政課で。
鴨下補佐	茨城県沖ではロシア漁船がサバとかイワシを中層トロールで捕る許可を日本から発給されています。去年は最後に、ロシアに帰る前、茨城沖にいたのは3月中旬ぐらいだと思うんですけど、今年はまだ居りませんで、太平洋側にいるのは北海道沖の2隻だけとなっております。魚がいないから帰ったのか、それとも捕り尽くしたのかという因果関係は、卵が先か鶏が先かのようにわからないんですけど、今年茨城沿岸にサバの来遊がないことから、早々と切り上

げたのではないかなというふうに想像するところでございます。

高濱議長

ほかにございますか。

(委員)

(特になし)

高濱議長

それでは、私から1点だけ。過去10ヶ年間の海況パターンというのがあったかと思うんですけど、4月5月の水温、こちらについては小型船の方々にされるだろうと思うので、漁海況の枠組みの中で、4月5月の漁獲は令和3年並みの200トンぐらい捕れますよという予測されていますが、過去10カ年を見るとですね、令和2年、3年と似ているから200トンだったならば、場合によっては平成29年だと1,000トンを超える年もあって、これは何か根拠があるんですか。例えば2年、3年はすごく似ているんですよとかいうのがあるのかなと思ひまして。それを確認したいと思ひます。

茅根首席研究員

実際の話で申し上げますと、今予想しているものは1月から5月までがすべて暖水が入ってくるという状況ですと、この200トンという数字がベースになってくる。ただ、ちょっと気になってますのが、唯一4月につきましては5回、中になる含みはございます。そうしますと、今、高濱会長からお話のあった中の29年、令和元年、令和2年、この辺の漁獲量を加味しなければならぬ可能性はゼロではございません。ただ、少なくとも200トンは捕れるでしょうということで今回は予測をさせていただいています。昨年の春シラスの予測は大幅に下回っておりますので、うちの予測が実際よりも下回ってくれて、また豊漁になってくれることを期待するという意味合いも込めましてここで示させていただいております。

高濱議長

上ぶれの期待を込めて、という意味ですね。

茅根首席研究員

はい。

高濱議長

はい、わかりました。
ほかの皆様方からございますか。

(委員)

(特になし)

高濱議長

よろしいですかね。
それでは、「その他」ですが、事務局から何かありますか。

根本事務局長

特にございませぬ。

高濱議長

本日の議事は「その他」を含めてすべて終了いたしました。議事以外でも結構でございますので、委員の皆様から何か御意見ございますでしょうか。

(委員)

(特になし)

高濱議長

よろしいですかね。皆様方からの御意見も特にないようですので、事務局より次回の開催日程をお願いいたします。

根本事務局長

今回は3月はありませんで、4月に開催いたします。4月の日程は現在調整中のため、まだ日にちを申し上げることはできません。後ほど御案内させていただきます。次回は4月に開催いたします。

議題につきましては「いか釣り漁業について」の委員会指示、そして「ひき縄づり（トローリング）について」の諮問などを予定しております。

詳細につきましては、追って御連絡いたします。

高濱議長

それでは、以上をもって第515回委員会を終了いたします。御苦勞様でございました。

閉会 午後2時52分

上記の記録の正確なことを認め署名する。

令和5年2月16日

議 長

議事録署名人
